

JR東労組青年部「2023沖縄平和研修」

Part③

本部青年部情報誌「POINT」の43号に引き続き、5月13日～15日に開催された、「JR東労組青年部2023沖縄平和研修」についての情報になります。沖縄の地で学んだことを紹介していきます。

④ ひめゆり平和祈念資料館 →

ひめゆり同窓会を母体とする財団法人(現ひめゆり平和祈念財団)によって、1989年6月23日に設立されました。館内では、当時の学校生活を伝える写真や資料、病院壕を再現したジオラマや生存者からのメッセージなどを展示しています。



← ⑤ ひめゆりの塔

ひめゆり学徒隊の最後の地の一つである伊原第三外科壕の上に建てられた慰霊碑です。同壕は沖縄陸軍病院第三外科勤務の職員やひめゆり学徒隊が南部撤退後に避難した壕で1945年6月19日朝、米軍の攻撃により多くの生徒や教師が亡くなりました。

でいご ⑥ 悌梧の塔 →

私立昭和高等女学校の方たちで組成された「悌梧学徒隊」を祀った塔です。悌梧学徒隊はひめゆり学徒隊と違い、野戦病院に配属され、戦場での看護活動を行っていました。悌梧之塔には学徒隊の戦死者数9名、職員3名、生徒50名の計62名の名前が刻まれています。



← ⑦ 魂魄の塔

住民や軍人など、沖縄戦で亡くなった約3万5千人の遺骨が、軍民や人種を問わず葬られている沖縄最大の慰霊塔です。戦後、最も早く住民の手でつくられ、平和への想いを込めた塔です。魂魄の塔では正式な慰霊祭はありません。毎年6月23日の「慰霊の日」には、国立戦没者墓苑には行かず、多くの県民がこの地に訪れます。「魂魄の塔」は、この地で命を落とした全ての人々の供養をしています。沖縄にある数多くの戦跡の中でも、沖縄の人々の慰霊地として平和を訴える重要な場所です。

